

支援プログラム

特定非営利活動法人こつみ 児童発達支援事業所 まめの木
放課後等デイサービスまめの木

作成日2025年2月11日



法人理念「お子様・家族に寄り添い、皆の心を大切に育て重ねて、社会に笑顔の花を咲かせよう」

支援方針 「誠意」・利用児童、ご家族に誠意を持って接します

- ・お子様との関わりを通して、保護者の方に信頼していただける関係づくりに努めます
「尊重」・一人一人の個性を大切にします
- ・子どもの特性、発達の状態に沿った支援をして発達を支えていきます
「自立」・それぞれの自立に向けて支援します
- ・友達と過ごす心地よさの積み重ねから社会性を伸ばしていきます
- ・自己選択、自己決定する力を支援して育てていきます
- ・社会経験の出来る環境、地域との交流のできる環境を用意します

営業時間 9時～17時
土曜日、国民の休日 9時30分～15時30分
(事業所カレンダーによる)
送迎 有

※個別支援計画（5領域）に沿った支援計画の設定をしています※



健康・生活

- ・健康状態の維持や基本的な生活スキルを習得し自立した生活につなげます
- ・個に合わせ、食事や排泄、支度の方法が身につけられるようにします
- ・どう動いたらいいのかわからないのか、何をしたらいいのかなど安心して行動できるように視覚で示します
- ・成長に伴い心に起きる葛藤を客観視してコントロールする力を伸ばします

本人支援



運動・感覚

- ・力の強弱、距離感、バランスなど様々な体の感覚の成長を図ります
- ・運動機能や体の動きをコントロールする力を伸ばします
- ・運動機能の成長は気持ちのコントロールにも役立ちます
・全身運動・散歩、アスレチック、階段上り、体操・公共の体育館で遊ぶ等
- ・指先運動・ハサミ、なぞり書き、製作活動、ビーズ通し等

認知・行動

- ・昨日、今日などの時間や数が理解できる力を伸ばします
- ・文字の読み書きの力を伸ばします
- ・話を聞く、指示を聞いて行動する、課題に向かうなどの姿勢を支援します
- ・特性から生じる行動には環境や対応の方法を工夫して支援します

言語・コミュニケーション

- ・話す、聞く、真似をする、見るなどのコミュニケーションや場に合った言葉遣いができるように支援します
- ・言葉だけでなく身振りや絵カードで気持ちを伝えるなど個に合わせた方法を一緒に考えます
- ・暴力、暴言など不適切な行為には原因や本来の要求を探り適切な行動につなげます

人間関係・社会性

- ・ソーシャルスキル(社会生活において円滑な人との関わりができる力)の修得をします
- ・友達との関わりの中で他者を理解し周りに目が向けられるように支援します
- ・ルールを守り指示に沿って行動できる力を伸ばします
- ・遊びや生活の中で役割を持ち成功体験を自信に繋がります
- ・特性に合わせて発散の方法を考えます
- ・感情に名前を付けるなどして気持ちのコントロールをします

家族支援

面談を6ヶ月に1回行いその際に相談があれば応じ、サポートをします。
面談日だけでなく相談には随時応じます。
親子の集いを年間数回行います。



移行支援

地域社会とのつながりを大切に活動を行います。
ボランティアの絵本の読み聞かせを月1～2回行います。
地域の図書館や公民館、児童館の利用、社会福祉協議会とのつながりを持ちます。

地域支援・地域連携

他機関と連携を図り支援に役立てるように努めます。
相談支援事業所と連絡をとります。ご要望や状況に合わせて連携を図ります。

職員の質の向上

職員会議、ケース会議は毎月行います。研修会には積極的に参加し支援の向上に努めます。
職員のチームワークを大切にして意見の言える職場環境を目指します。

行事・利用者、ご家族を対象にした夏祭り、親子の集いなど 利用者対象の季節の行事・たなばた・ハロウィン・クリスマス・節分など
工場などの社会見学、スポーツ巡回指導なども行います。